

科目	理学療法学研究法特論	担当	山田 和政	履修学年	4年
時間数	90分×時限×32回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

4年間の専門領域又は保健・医療・福祉の共通部分において、特に臨床実習を通して学んだ諸問題の中から、自らの関心に基づき主体的にテーマを設定し、そのテーマに関連した先行研究に関する文献的思索を通しながら様々な研究手法に基づいた研究計画を立案し、フィールドでのデータ収集とデータ処理を行った上で論文をまとめるとともに、その成果発表を通して効果的なプレゼンテーション技術についても学ぶ。受講者は、一連の研究プロセスを体験し、研究手法を修得することができる。

【履修注意】

理学療法領域に関連した自分にとって興味深い1つの研究テーマを、学生3名を上限にグループを構成し、研究実践プロセスとその実践経験について真摯に取り組む事。

【評価方法】

研究計画立案、データ収集・分析、成果発表、論文作成のプロセスと論文成果を3割として評価し、成果発表を7割として評価する。

【試験について】

実施しない。

【予習・復習】

【教科書】

なし

【参考書】

【その他の注意事項】

講義計画・内容については、研究の進行に合わせて、各担当教員の指導の下、調整する。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	研究テーマの検討、文献検索、抄読会	
3・4	研究テーマの検討、文献検索、抄読会	
5・6	研究テーマの検討、文献検索、抄読会	
7・8	研究テーマの検討、文献検索、抄読会 計測方法、機器・計測方法・調査票の検討	
9・10	計測方法、機器・計測方法・調査票の検討	
11・12	計測方法、機器・計測方法・調査票の検討 実験計測とデータ収集	
13・14	実験計測とデータ収集	
15・16	実験計測とデータ収集 理学療法における知識の整理	
17・18	理学療法における知識の整理 データ処理・分析・解釈	
19・20	データ処理・分析・解釈	
21・22	データ処理・分析・解釈 成果発表準備(目的・対象・方法・結果図表作成)	
23・24	成果発表準備(目的・対象・方法・結果図表作成)	
25・26	成果発表準備(目的・対象・方法・結果図表作成)	
27・28	成果発表(質問対応および教員指導) 論文作成(指摘・指導に対する修正対応)	
29・30	論文作成(指摘・指導に対する修正対応) 論文提出	